

# 平成 25 年度 事業報告書

施設名 シオン園

- 1 施設種別： 児童養護施設 シオン園
- 2 施設長名： 宮崎 哲博
- 3 定員： 53 名
- 4 職員定数： 22 名  
(但,現員 25 名のうち非常勤 2 名、平成 25 年 4 月 1 日現在)
- 5 入所児童の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日	48	46	45	45	45	45	45	45	47	47	45	45
入所								2				4
退所	2	1								2		7
月末	46	45	45	45	45	45	45	47	47	45	45	42
延数	46	91	136	181	226	271	316	363	410	455	500	542

# 2013 年度(平成 25 年度)事業報告

社会福祉法人 慈愛園  
児童養護施設 シオン園

## . 運 営 方 針

「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである。」(新約聖書 マタイによる福音書 25 章 40 節)この言葉は社会福祉のマグナカルタといわれているものである。シオン園ではこの聖句を基本にすえて、日本福音ルーテル荒尾教会との連携を深め、以下の事業を行った。

## . 事 業 方 針

### 1 2013 年度シオン園の生活目標

「あなたがた今泣いている人たちは、幸いだ。笑うようになるからである。」(新約聖書ルカ 6 章 22 節)  
子どもたちを愛するという信念を持って、子どもたちに接していくならば、いつか必ず子どもたちが答えを返してくれることを信じ生活に取り組んだ。

### 2 子どもの福祉向上実践への努力

- (1) 痛みを感じる実践
- (2) 誇らない実践
- (3) 騒々しくない実践
- (4) さわやかな実践
- (5) 豊かな出会いの実践
- (6) 立ち尽くす意実践

子どもたちの生活の質の向上を図るべく以上の 6 つを実践していくよう職員と確認していった。

### 3 施設の情報開示・・・サービス評価委員会

「社会福祉事業の経営者は、福祉サービスを利用しようとする者が適切かつ円滑にこれを利用することができるように努めなければならない。」(社会福祉法第 75 条)

- (1) 養護サービスについて内部評価を行い、質を高めることはできたが、第三者評価は受けていない。
- (2) 事業報告、財務諸表などをホームページ上で公開する。また、シオン園の中で、すぐに閲覧できる場所に資料を配備し請求があった場合は直ちに閲覧に供することができた。
- (3) 広報誌「れいんぼう」を年 2 回発行し施設の活動、こどもたちの生活の様子、決算・予算の状況を家族および地域に開示することができた。

#### 4 個人情報・施設情報の保護とプライバシーの確保・・・個人情報保護委員会

「個人情報とは、生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日、その他の記述等により特定の個人を識別できるものをいう。」(個人情報保護法第2条)

- (1) 個人情報は、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであり、個人情報を取り扱うシオン園としては、個人情報の適切な管理に努めた、
- (2) 職員は、正当な理由がなく、その業務上知りえた施設の情報および子どもまたはその家族の不審を漏らしてはならない(就業規則第 17 条 3 項)職員会議・職員連絡会を通して啓発を行った。
- (3) 個人情報を守るための職員の学習会は日程の都合により開催することができなかった。

#### 5 子どもの権利擁護と懲戒権濫用の防止・・・子どもの虐待・体罰防止委員会

「何人も、児童に対し、虐待をしてはならない。」(児童虐待防止法第 3 条)

「児童養護施設の長は、入所中の(中略)児童の福祉のために必要な措置を取るときは、身体的苦痛を与え、人格を辱める等その権利を濫用してはならない。」(児童福祉施設最低基準第 9 条の二)

- (1) 子どもの生活援助における体罰防止と、言葉による虐待、懲戒権の乱用防止に努めた。特に子ども同士のいじめに職員全体で留意した。
- (2) 職員をはじめ、年齢、発達段階に応じた性教育・研修を充実することができた。
- (3) 子どもの権利擁護、懲戒権濫用防止のため、職員の意識啓発、学習会を開催することができた。CAP の研修を有効に行うことができた。

#### 6 子どもおよび家族からの施設生活に関する苦情・要望に対する対応とその迅速化

・・・要望(苦情)処理委員会

「社会福祉事業の経営者は、常にその提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない。」(社会福祉法第 82 条)

「児童福祉施設は、その行った処遇に関する入所している者またはその保護者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置するなどの必要な措置を講じなければならない。」(児童福祉施設最低基準第 14 条の二)

- (1) 要望および苦情事項の職員会への報告と対応審議は職員会で定期的に行った。
- (2) 「要望・苦情処理第三者委員会」が一回しか開催できなかった。
- (3) 職員は、子どもの「考え・思い・願い」に洞察を深め職員の連携によりその実現を支援するた

めの研修を行った。

7 被虐待児等の受け入れ体制の環境整備と早期家庭復帰の支援体制の教化・・・セクシャルハラスメント対策委員会

- (1) 施設内虐待(特に体罰・性的問題)防止と、職員の就業環境を害するような性的言動の防止について、職員会議を通して努めた。
- (2) 心理療法職員と他職種職員との連携を深める研修を企画した。
- (3) 被虐待児童個別対応職員の専門性向上を、支援会義等を通して行った。
- (4) 専門医療機関との連携を、支援会議等を通して行った
- (5) 児童相談所との密接な連携のもとに家族との対応、家庭訪問の強化、親子の早期再統合を図っている。
- (6) 上記内容達成のため研修を行った。

8 子どもの食習慣と精神衛生・・・給食・献立委員会

「食育は、食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現することにより、子ども(国民)の心身の健康の増進と豊かな人間形成に資することを旨として、行わなければならない。」(食育基本法第2条)

- (1) 管理栄養士、栄養士、調理師それぞれの専門性向上のため外部研修に参加した。
- (2) 食事の場を利用して子どもたちと団欒を深め、子どもの精神的・情緒的安定を図っている。
- (3) 子どもの発達段階に応じて、食習慣を習得するため、子どもの調理体験や学習会を重ねる。

9 子どもの事故防止・・・事故防止委員会

- (1) 厚生労働省による「子どもの施設の安全全国一斉総点検について」の趣旨に沿い、園内施設および遊具などの点検整備を行い事故防止に努めている。
- (2) 人工呼吸法訓練を重ねながら「AED」(半自動除細動器)の使用法を習得している。
- (3) 園内侵入の不審者対策として、夜間門扉の閉鎖、来園者に対する声かけ等に努めている。

## ． 環 境 整 備 計 画

1 園内の環境整備

- (1) 住環境における植栽計画の推進を計画に基づき行った。
- (2) 園内環境美化の計画・実施を行った。
- (3) 子どもが安心して遊べる環境の整備
- (4) シオン園の周辺の樹木伐採を含む環境整備を業者委託し行った。
- (5) 花いっぱい運動の推進を行い、ボランティアの支援を受け花壇の維持管理を行っている。

## ・財政計画

### 1 措置児童数の安定

- (1) 児童相談所との連携をとり入所児童数の安定を図ったが十分に成果は出なかった。
- (2) 熊本県、厚生労働省メニュー事業への積極的取組として、里親支援専門相談員を申請し受託した。
- (3) ショートステイ、トワイライトステイ事業の充実を近隣市町村と積極的に連携して進めることができた。
- (4) 補助事業への積極的取り組みを継続して行っている。
- (5) 事務費のさらなる節約に努めた。

### 2 後援会活動の拡大

- (1) 広報誌「れいんぼう」配布の広範化を図り、年2回計 2,600 部を発行できた。
- (2) 後援会組織の拡大を図る行動を行っている。(紹介 DVD の活用)

## 保育士部門事業報告

### 1. 事業内容について

#### (1) 支援

自立支援計画に基づく個別的支援により、子ども一人一人の年齢に応じた自立に向けて取り組んできた。また、意見箱の活用により子どもたちの意見表明の場が設けられ、それを生活改善に生かすよう心がけることができた。権利擁護の観点から、次年度も子どもたちが自らの意見を表明し自主的な考えをもって活動できるよう支援を行うことを心がけていきたい。

健康管理においては、栄養士による意見を参考に食育に力を入れ、健康な体作りをめざしてきた。給食委員会へは子どもの要望等を積極的に取り入れてもらったことはよかった。また、感染症対策の研修への参加、予防接種、各自の体調面での情報の共有、それに基づく、予防の実践、及び罹患した時の迅速な対応での感染の拡大、重篤な症状に陥ることはなかった。今後も引き続き感染症に対しては常に危機感を持ち研修への参加、適切な処置を行っていきたい。

中高生の進路決定に際しては、子どもの意見を尊重し、地域へのサポートへつなげることができた。

#### (2) ホーム運営・管理の充実

ホーム内の備品の管理と設備の点検は定期的に行うことができた、また、ホーム外の危険箇所を子どもたちの動向に目を向けながら把握するよう心がけている。幸い、自己なく過ごしているが引き続き強化していく。

#### (3) 職員、及び関係機関との連携

職員間の連携ということで、指導員、心理士及び家庭支援専門相談員と各ホーム月 1 回のコンサルテーションの実施を定例化し、現状の把握と、生活の場での心理的側面からのアプローチのあり方、及び家族との関係調整を検討、実践に生かすよう努めてきたが、日程調整が上手く行かず各ホー

ム十分にできなかった点、また、アセスメントを有効に生かすという点では職員間に格差があり今後の課題であると思われる。次年度は、各部門の役割を十分に認識し、それぞれが効率的に活動し、組織力を高める必要がある。

また、子どもの家族にニーズという視点から、対応に苦慮することが多くなっている中、今度は家族への対応マニュアルも検討していく必要があると痛感した。また家族復帰ケースも増えアフターケアを実践するにあたっては関係機関の協力は不可欠である。こうした事を考慮して担当職員は、FSW と連携し調整に当たり効率的に家族調整を図る必要がある。

それから、学校関係では、小学校、中学校はもとより支援学校との連絡協議会も定例化し、相互の共通理解と連携を図ることで出来つつあるが、教育と福祉という場での価値観の違いからか、子どもたちの現状を理解してもらうことに苦慮した現状にある。子どもの最善の利益を追求する立場にある我々が教育に携わる人たちへの理解を得るためにも我々自身が知識を得て啓発していかなければならないと痛感した。このことを踏まえて、職員一人一人の力を付けることは必須であるので今後も研修会、勉強会への積極的な参加を勧めていきたい。

#### (4) 保育士会の連携、及び学習会について

前述の通り、多様化する利用者のニーズに対応するためにも職員の質の向上は不可欠である事から、施設内外の研修会への参加を心がけているが、今年度は、多種多様の施設内研修、対外的な研修に参加することができた。

特に、若い世代の職員のモチベーションが上がり意欲的な活動が出来ていたと思われる。今後も継続していき、職員一人一人の資質向上を目指していく。また、保育士会としての活動はなかったので次年度は定期的な学習会交流会等を行っていきたい。

#### (5) 園内クラブの充実

手芸、生け花、折り紙のボランティアによる指導が行われており、特に、生け花、折り紙においては月1回定例化しており、子ども達の情操教育の場となっており、子ども達も積極的に参加している。次年度も継続事業として保育士会として協力を行っていく。

# 児童指導員部門事業報告

## 平成 25 年度事業報告について

### 【結果】

日々の生活に関しましては、各自、各ホームにおいてリズムよく生活を送る事が出来たと思われま  
す。また月 1 回のフリーデーと毎週の日曜日の自由時間も定着し、個々人が有効的に自主的な活  
動に取り組むことに繋がったと思われま

す。学校関係に関しましては、小学校、中学校、特別支援学校と連絡協議会を先生方と工夫しながら  
より充実した形で定例実施する事ができ、入所児童への理解に大いにつながったとおもわれま  
す。それから虐待のトラウマ症状や発達障がいなどの問題を抱える児童に関しましては、担当CW毎に  
連携をとり個別的な配慮が出来たと思われま

す。次年度も更なる関係機関を交えた連携の強化を  
図りたいと思いま

す。学習指導(受験)に関しましては、主として通塾を利用する事により、より個別のニーズに応じた学  
習支援を展開する事が出来き、中学 3 年生が全員高校に進学する事ができ非常によかった事と思  
われま

す。入所児童の意見表明件に関しては、次年度に引き続き、生活の中での児童との話し合いを持つこ  
とを基本としながら、意見箱また子ども会の場において保障することができました。次年度も更に引  
き続き行っていきたくと思われま

す。食育支援に関しましては、継続で重点項目として取り組んできました。特に中学生調理に関しまし  
ては、栄養士、調理職員、また CW とのしっかりとした連携によりその中身も更に充実さを増してい  
ると思われま

す。また食育講和も実施する事がよかったです。次年度も継続実施してい  
きたいと思いま

す。自立支援計画書の作成に関しましては、児童相談所の援助指針また意見交換の場を年に 3 回持  
たせていただき、その中身も現場に即した実践的なものであったと思われま

す。職員研修に関しましては、月毎の園内研修の充実、更に養護協議会による指導員研修会を主体  
に、ブロック研修などの様々な参加を通じて各自スキルアップを行いました。更には職員の相互の  
自発的な施設内研修も行う事が出来ま

す。次年度も入所児童の現状に即した支援ができる様に中でも虐待・愛着に関して重点的に自主研修  
を含めて取り組んでいきたいと思いま

す。次年度の課題としては、具体的な小規模化に向けての他の職域との連携や専門性の向上等を視  
野に入れた事業計画の作成と実践を心がけることが必要であると思いま

## 栄養・調理部門事業報告

子ども達の生活の中で、食を大切にしながら、計画に沿って行事の実施、食育の推進に努めてまいりました。目標を軸に業務を概ね計画通りに無事に終えることができました。

子ども達には、食の営みの体験を通してたくさんのことを感じてほしいと願っています。また、シオン園での食事が現在の生活だけでなく、将来の生活に役立つように支援をしていきたいと思っています。

業務としましては、毎日の食事と食卓作りを第一に取り組んでいますが、行事食や食育イベントなどもたくさん行っています。数年続けている「お箸知育教室」「卒園前のテーブルマナー教室」も定着し、参加していない子ども達も興味を示しているようです。また、今年度から実施した月一回の夕食のホーム調理は、子ども達と食事の準備から会食、後片付けに至るまで調理担当職員が関わり、子ども達も食材から食事のできあがるまでを知る良い機会になっていると感じています。

次年度は、休止していた中学生調理を子ども達の要望で再スタートすることになりました。今後も、子ども達には食事の準備から後片付けまでの体験を通して、たくさんのことを体得して欲しいと願っています。

### 1 目標

- ・子ども達の安定した生活と心身の健全な成長の為、おいしく安全で栄養ある食事・食卓作りをする。
- ・子ども達が現在をいきいきと生き、かつ生涯にわたって健康で質の高い生活を送るため食を営む力を育てるとともに、それを支援する環境づくりを進める。（食育）

### 2 業務内容

多職種協働で、子ども達の生活と成長の基盤である食卓を整え、食育を推進する。

#### (1) 栄養管理

子ども達の性別、年齢、体格、栄養状態、生活状況等を把握・評価し、子ども達に必要な栄養量の算定に努める。入所時は栄養アセスメントを行う。

子ども達の健康の維持・増進、生活習慣病の予防のため、食事摂取基準を活用し、食事計画を立てる。

子ども達の食事の摂取量、残食量の把握に努め、給与栄養量の目標の達成度を評価し、その後の食事計画の改善に努める。

#### (2) 食事の準備、運営

献立作成、調理、盛りつけ・配膳、喫食等各場面を通して関係する職員が多岐に亘るので、定期的に施設長を含む給食・献立委員会で情報の共有を図り、食事の計画・実施・評価を行う。

・献立作成：子ども達の嗜好・意見、季節感に留意する。…年間計画別紙資料 1

・材料発注・納品：国産、熊本県産に留意し、安価で新鮮な材料の納品に努める。

・調理：衛生管理、味付け、ビタミンの損失に留意する。

・配膳：適時適温に留意し、部活や塾等で食事時間がずれる場合は、個別に対応する。

・病中病後・アレルギー・欠席時等の子どもへの対応：直接援助職員と連絡・相談し、病中病後・アレルギー・欠席時等の子ども達への食事をその病状等に合わせて提供する。その際、



必要に応じ担当の医師の指示を得る。

・嗜好調査を実施し、その集計結果を公表し、給食に反映させる。

ホーム職員を含む調理担当者の健康管理に留意し、月に1回検便を行う。

食堂と調理室を常に清潔に保ち、調理器具、グリストラップ等を定期的に適切に清掃する。

非常時への備え(危機管理)

・2日分の非常食の備蓄と献立の準備、3社との給食の調理及び配送の委託契約  
(非常食は、冷蔵・冷凍庫ストックの生鮮品と冷凍食品等を優先して使用する。)

・食中毒発生時の対応のマニュアル

### (3)給食・献立委員会の活動(職員会と主任会時、月2回程度の実施)

食事が子ども達の生活の癒しや活力になるために、子ども達と職員で食生活について考える。普段の食事や行事食などを子ども達の意見をもとに決定し、子ども達のリクエストメニューは、給食への積極的な反映を目指している。食事は毎日のものであり、このような子ども達の食事への主体的な関わりは、食への関心を高め、好きな食べ物が増えるなどの効果が期待できる。また、これは、小さなことの自己決定の積み重ねとなり、自立を促すことにつながると考える。

子ども達の食への関わりの具体的内容(方法はアンケート、日常の会話など)

・リクエストメニューなどを通して献立作成への参加

・誕生日リクエスト(個々人の誕生日に食べたいものを準備)

・食事の企画や食の行事の詳細決定への参加

・ホームやたんぼぼ園などからの食に関する依頼への対応 など

(子どもの入所時のウェルカム食、ホーム活動など)

実施した食事が子ども達に適正かなどを子ども達の健康状態や食事場面での様子や意見、献立の栄養価、給食費予算などを踏まえ、評価し、次の食事計画に活かす。

ホーム職員に対して子どもの心身の健康と栄養との関係の情報提供を行い、個別対応が必要な子ども達の情報をホーム職員から得よう努め、子ども達への食支援を強化する。

### (4)食育:最終目標「楽しく食べる子どもに」

食生活自立援助計画:別紙資料2を指標に子ども達の発育・発達過程に応じて行う。

・毎日の食事・行事食・献立メモ・ごはんだより・外食・ホーム炊事

・食の講話・お箸知育教室・もちつき

・卒園生へのレストランでのテーブルマナー講習会・レシピ集プレゼントなど

### (5)ホームページにおける情報の公開と発信

・シオン園の子ども達の食事の内容や様子や行事食、また食育などについて情報公開をする。

・食に関する情報と知識の普及のため、食育についての情報発信をする。

### (6)職員研修

業務の実効を高めるため、調理員、栄養士それぞれの専門知識・技術の習得に努める。

資料 1 年間計画

月	行事	行事食	その他	栄養業務、その他
4	誕生会	誕生会食	高校生弁当購入:月2回 粗食の日:月1回	給食委員会
5	誕生会 子どもの日 グリーンランド招待 中央小学校運動会	誕生会食 ちまき、かしわもち 外食 手作り弁当	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会
6	誕生会	誕生会食	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会
7	誕生会 土用丑の日 七夕	誕生会食 うなぎ そうめん、すいか	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会
8	誕生会 特別プログラム(帰省時)	誕生会食 外食	粗食の日 <b>食の講話</b>	
9	誕生会 秋分の日 府本幼稚園運動会	誕生会食 おはぎ 手作り弁当	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会
10	誕生会	誕生会食 <b>焼き芋会(10~3月)</b>	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会
11	誕生会、寿司の日 ふれあい運動会	誕生会食、寿司(予定) 手作り弁当	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会
12	誕生会 クリスマス会 冬至 もちつき	誕生会食 クリスマス会食 南瓜料理 つきたてもち	高校生弁当購入 粗食の日 <b>お箸知育教室 1月19日実施</b>	給食委員会
1	正月 特別プログラム(帰省時) 誕生会	おせち料理 外食 誕生会食	1人暮らし世帯への おせちの配食 粗食の日	給食委員会
2	誕生会	誕生会食 外食(予定)	高校生弁当購入、粗食 <b>テーブルマナー</b>	給食委員会 嗜好調査(予定)
3	誕生会・卒業祝 おひなまつり 春分の日 花見	誕生会食 寿司、桜もちなど おはぎ 外での会食	高校生弁当購入 粗食の日	給食委員会 栄養管理状況報告 書提出(4月15日迄)

資料2 食生活自立援助計画(指標)

年齢	目標	ホーム・園内保育での 援助内容	給食担当者の 援助内容
2 ～ 3歳	<p>楽しんで食べる</p> <p>スプーン、コップを上手に使い、食器を持って食べる 味を知る 箸に関心を持ち、次第に箸に移行する 食事を楽しみにする 食事中、席を立たない</p>	<p>苦手な食べ物は、一口から始める よく噛み、良い食べ方を習慣付ける スプーンや食器の正しい持ち方を教える 食前後のあいさつを促す 歯磨きの習慣づけ</p>	<p>調理法を工夫する 必要に応じ、個別に対応する</p>
4 ～ 5歳	<p>楽しんで食べる</p> <p>箸を使って食べる 食事の準備、後片付けに興味を持つ 正しい姿勢、正しいマナーを身に付ける いろいろな食べ物の味に親しむ 身近な食材を知る</p>	<p>食前の手洗いの習慣づけ 食前後のあいさつの習慣づけ 絵本やホームでの調理の時に食材を見せる</p>	<p>必要に応じ、個別に対応する 栄養の理解を促す</p>
小学1 ～ 3年	<p>お手伝いをする</p> <p>食生活習慣・マナーの自立 行事食の知識を知る 好きな食べ物を増やす</p>	<p>食前の手洗い・挨拶・歯磨き・排泄の自立を促す 配膳・下膳への参加を促す 箸の持ち方を確認し、必要な援助をする 栄養の理解を促す</p>	<p>食育講話 (長期休暇時) 献立表メモ ごはんだより</p>
小4 ～ 6年	<p>お手伝いを通して、調理の知識を学ぶ</p> <p>好きな食べ物を増やし、何でも食べられるようになる 食物の生産・流通を知る 広く食材や調味料を知る 料理名を知る 食中毒・外注などの衛生面などの知識を持つ</p>	<p>季節と文化(行事)と食事の関わりを伝える ホーム調理の時に食材の名前や肌触り、調理方法を教える 調理をする人に感謝の気持ちを抱くような働きかけをする 旬の食材が食事に出た時など、その名前や特徴を理解させる 栄養の理解を促す</p>	<p>食育講話 (長期休暇時) お箸知育教室 (小6:12月予定) 献立表メモ ごはんだより</p>

<p style="text-align: center;">中学生</p>	<p style="text-align: center;">調理方法のマイ</p>	<p>栄養のバランスがわかり、自分で考えて食べられるようになる</p> <p>基本的な調理、食事マナーをマスターする</p> <p>料理の本を読めるようになる</p> <p>食品の鮮度、品質表示、賞味期限、添加物などの知識を得る</p> <p>食事に感謝し、食べる</p> <p>食べ物の旬を知る</p>	<p>グループや周りの人の気持ちを考えたマナーを促す</p> <p>品質表示、賞味期限などの見方を教える</p> <p>食べ物への感謝の気持ちを抱くよう働きかける</p> <p>旬の食材が出た時などその名前の特徴を理解させる</p>	<p>栄養の知識を教える</p> <p><b>中学生調理</b></p> <p><b>休止しました</b></p> <p>切り方、調理方法を学ぶ</p> <p>料理本を見る</p> <p>献立作成</p> <p>レシピ集の配布</p> <p>献立表メモ</p> <p>ごはんだより</p>
<p style="text-align: center;">高校生</p>	<p style="text-align: center;">食の自立</p>	<p>環境と食生活の関係に関心を持つ</p> <p>食事に積極的に参加し、楽しく食べる</p> <p>予算の中で栄養を考慮し、メニューを立案し、食材を選び購入する。衛生面も考えながら調理できるようになる</p>	<p>日常の生活と環境問題との関連を話す(残菜)</p> <p>手伝いを通して調理技術を身に付ける</p> <p>ホーム活動での調理実習</p> <p>レストランなどの場所で食事の体験をさせ、マナーを完成させる</p>	<p>調理実習</p> <p><b>毎週日曜日実施</b></p> <p>レシピ集の配布</p> <p>お箸知育教室</p> <p><b>1月20日実施</b></p> <p>レストランでのテーブルマナー講習会</p> <p><b>2月10日実施</b></p> <p>中3生1名、高3生2名参加</p>

# 心理士部門事業報告

## 1 目標

- (1) 子どもの安心感、安全感の再形成、自己肯定感の向上を図る。
- (2) 子どもの適切な対人関係の形成を図る。

## 2 事業内容

### (1) アセスメントの実施

バウムテスト、知能検査、SCT(必要に応じて検査を変更)を実施し、生活場面、心理療法場面での行動を踏まえ、見立てを立てる。見立てを基に、心理療法の方針を決定したり、ケア・ワーカーへのコンサルテーションを実施したりする。

### (2) 個人心理療法の実施

継続的な心理療法の場を提供し、無条件の肯定的配慮、共感的理解、自己一致といった臨床的態度の下に、子どもの安心感、安全感を培っていく。また、子どもの表現を受け入れ、子どもの主体性、自己肯定感の促進を目指す。

### (3) 集団心理療法の実施(キッズ・ケア・センターとの共同事業)

他者との関係構築が苦手な子ども(トラブルが多い、集団のペースに合わせられない、自己主張が苦手など)を対象に、「居場所」としての場、自己肯定感向上の場、ソーシャルスキル獲得の場を提供する。実施に際しては、集団心理療法の目標を明確にし、参加する子どもに参加目標への理解を促す。

### (4) 記録の充実と振り返り

子どもへの効果的な支援を検討するために、心理検査及び心理療法実施後の記録を充実させる。記録を定期的に振り返ることで、その時点での子どものアセスメントを行い、支援方針をその都度見返していくようにする。

### (5) ケース会議、支援方針会議への参加

必要に応じて、面接経過、見立てと方針等について情報を提供する。他職種から提供された情報と心理学的見解を基に、自らの実践活動を省みながら、ケースに関する理解を深め、より効果的な支援について検討していく。また、会議によって検討された課題について、心理療法の中でのアプローチ出来るものがあればアプローチするように努める。

### (6) 他職種との連携

#### 情報の共有化

子どもの生活場面での様子、心理療法場面での様子について、情報の共有化を図ることで、子どもを多角的に捉え、連続性のある支援を実施できるようにする。

#### コンサルテーションの実施

実施した心理検査や心理療法から推測される子どもの特性、心的状態について、ケア・ワーカーへフィードバックを行ない、生活場面での様子を踏まえながら、支援について検討する。また、ケース会議、支援方針会議の中で提案された支援方法について再検討する場として活用する。

(7) 児童相談所、医療機関、学校等の他機関との連携

必要に応じて、他機関に対し、子どもの抱える課題について、倫理的視点から情報提供を行い、支援方法について検討する。また、他機関から心理検査の実施を求められれば、心理検査を実施し、検査結果について情報提供を行う。医療機関受診を必要とする子どもについては、受診する医療機関に対し、心理検査結果、面接経過、医療機関受診の経緯等を文書化し、提出する。

(8) 専門性の向上

積極的に様々な研修会に参加し、心理学(特に児童分野)における知識と技術の向上を目指し、自己研鑽に努める。

### 事務部門事業報告

新園舎建築に伴い、年間約350万円の借入金返済、人件費支出のため、25年度では約1,500万円の赤字決算となりました。次年度では事前計画に基づく確実な予算執行を行い、職員各位の協力を得ながら経費削減に努めてまいります。

### 【結果】

(1) 情報機器(パソコン関係)の耐用年数超過による買換え

……一部買換えを行った。次年度も継続する。

(2) 合理的な人件費支出の模索

……計画的に執行できた。今後も要検討。

(3) 毎月に試算表に関し、年度予算対比への反映強化

……研修費、旅費交通費など不意の支出が多くみられたので  
次年度も継続していく。

(4) 労働基準監督署の指示に従い、提出書類の適正化を図る

……適正化を図ることができた。次年度も継続。

## キッズ・ケア・センター

### 1. 事業等実施状況

#### (1) グループワーク・集団指導

日 程	事業名、内容、等	出席者(人数)
4月21日(土) 5月19日(土) 6月9日(土) 7月28日(土) 8月25日(土) 9月29日(土) 11月24日(土) 1月26日(土) 2月23日(土) 3月30日(土)	【事業名】 集団心理療法(すくすくなかよしひろば) 【内容】 言語面、ソーシャルスキルの乏しさを抱えている子どもを対象にルール性のある遊びや、ロールプレイを使ったソーシャルスキルトレーニング、読み聞かせなどを1時間の枠で実施。小2の男女で構成。	【子ども】 4名 【スタッフ】 2名(本所1名)  本体施設と 合同事業。
4月14日(土) 6月30日(土) 7月21日(土) 9月8日(土) 10月13日(土) 11月17日(土) 1月26日(土) 2月23日(土) 3月16日(土)	【事業名】 集団心理療法(さくらんぼグループ) 【内容】 言語面、ソーシャルスキルの乏しさを抱え、集団の中で適切に自分を表現することができない子どもを対象にルール性のある遊びやソーシャルスキルトレーニングなどを1時間の枠で実施。小5の女兒で構成。	【子ども】 5名(本所3名) 【スタッフ】 2名(本所1名)  本体施設と 合同事業。
4月28日(土) 5月19日(土) 6月16日(土) 7月24日(火) 8月25日(土) 9月22日(土) 10月13日(土) 11月10日(土) 1月19日(土) 2月9日(土) 3月30日(土)	【事業名】 集団心理療法(ふれあいグループ) 【内容】 ソーシャルスキルの乏しさを抱え、集団の中で適切に自分を表現することができない子どもを対象にルール性のある遊びやソーシャルスキルトレーニングなどを1時間の枠で実施。小4~小6の男児で構成。	【子ども】 4名(本所3名)。 【スタッフ】 2名(本所1名)  本体施設と 合同事業

<p>4月28日(土) 5月26日(土) 7月31日(火) 8月25日(土) 9月29日(土) 10月27日(土) 12月1日(土) 1月26日(土) 2月16日(土) 3月16日(土)</p>	<p>【事業名】 集団心理療法(フレンドシップグループ) 【内容】 衝動性を抱え、自分の感情・行動を適切にコントロールすることができない子どもを対象にルール性のある遊び、ソーシャルスキルトレーニング、怒りの感情の対処などを1時間の枠で実施。小4~小6の男児で構成。</p>	<p>【子ども】 3名(本所1名) 【スタッフ】 2名(本所1名)  本体施設と 合同事業</p>
<p>4月20日(金) 5月25日(金) 6月29日(金) 7月31日(火) 8月24日(金) 9月28日(金) 10月26日(金) 11月23日(金) 1月25日(金) 2月19日(火) 3月29日(金)</p>	<p>【事業名】 集団心理療法(ひだまりグループ) 【内容】 言語面・ソーシャルスキルの乏しさを抱え、集団に適應することに難しさを抱えている子どもを対象にルール性のある遊び、ソーシャルスキルトレーニングなどを1時間の枠で実施。中学生女児で構成。</p>	<p>【子ども】 5名(本所1名) 【スタッフ】 2名(本所1名)  本体施設と 合同事業</p>
<p>4月21日(土) 5月19日(土) 6月16日(土) 7月7日(土) 8月4日(土) 9月1日(土) 10月13日(土) 11月10日(土) 12月8日(土) 1月26日(土) 2月23日(土)</p>	<p>【事業名】 集団心理療法(お話グループ) 【内容】 コミュニケーションスキル不足や自己表現できない子どもを対象にゲームやロールプレイを通して、自己表現を促し、コミュニケーションスキルの獲得を目指して1時間の枠で実施。中3~高3の女児で構成。</p>	<p>【子ども】 7名(本所3名) 【スタッフ】 2名(本所1名)  本体施設と 合同事業</p>

(注)・「グループワーク」とは、ワーカーやセラピストによる集団を通しての援助。

「集団指導」とは、エンカウンターグループ、自助グループ、治療的グループ、グループサイコセラピー等



## (2)地域支援事業・子育て支援事業

日程	事業名、内容、等	出席者(人数)
5月17日(木)	心の教室相談員等連絡会議	計15名
5月18日(金)	荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会	計10名
5月28日(火)	熊本県要保護児童対策地域協議会	計20名
6月15日(火)	荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会	計20名
6月19日(金)	いじめ根絶ながす町会議 青少年健全	計20名
6月29日(日)	荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会	計15名
7月12日(木)	心の教室相談員等連絡会議	計15名
10月19日(金)	有明圏域障がい者自立支援協議会子ども部会 荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会	計25名
11月16日(木)	荒尾市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	計10名
11月29日(金)	荒尾・玉名地域虐待防止等連絡協議会実務者会議 心の教室相談員等連絡会議	計20名
11月29日(木)	荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会	計15名
12月18日(火)	荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会	計15名
12月21日(金)		計15名
平成26年		
2月8日(月)	有明圏域障がい者自立支援協議会子ども部会 心の教室相談員等連絡会議	計15名
2月12日(木)		計25名
2月19日(木)		計15名

(注)・「地域支援事業・子育て支援事業」:子育て支援セミナー等

## (3)他機関との連携

日程	事業名、内容、等	出席者(人数)
4月11日(水)	荒尾中央保育園 カンファレンス	園長 本所1 計2名
4月25日(水)	緑ヶ丘小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
5月1日(火)	服栄中学校 カンファレンス	学校6 本所2 計8名
5月7日(月)	長洲小学校 カンファレンス	学校5 本所1 計6名
5月7日(月)	カンガルー保育園 カンファレンス	園長 本所1 計2名
5月8日(火)	中央小学校 カンファレンス	校長 担任 本所1 計3名
5月14日(月)	南関第二小学校 カンファレンス	学校3 本所1 計4名
5月14日(月)	三加和中学校 ケース検討会	学校4 教育事務所2 父母 本所2 計10名
5月17日(木)	海陽中学校 ケース検討会	学校7 福祉課2 児相2 本所1 計12名
5月18日(金)	入所(措置)委託児童支援会議	本体施設 10 児相4 本所1 計15名

5月30日(水)	荒尾第四中学校 カンファレンス	担任 本所1 計2名
5月30日(水)	腹栄中学校 インテーク	担任 母 本所1 計3名
5月31日(木)	横島小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
6月6日(水)	高道小学校 カンファレンス	担任 本所1 計2名
6月11日(月)	腹栄中学校 カンファレンス	学校3 本所1 計4名
6月12日(火)	大野小学校 カンファレンス	学校4 本所2 計6名
6月14日(木)	服栄中学校 カンファレンス	担任 本所1 計2名
6月18日(月)	服栄中学校 カンファレンス	担任 支援員 本所1 計3名
6月19日(火)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
6月23日(土)	カンガルー保育園 保育参観にて講演	
6月26日(火)	腹栄中学校 カンファレンス	学校2 本所2 計4名
7月2日(月)	万田小学校 カンファレンス	学校2 福祉課2 本所1 計5名
7月2日(月)	腹栄中学校 カンファレンス	
7月2日(月)	平井小学校 カンファレンス	校長 コーディネーター
7月3日(火)	中央小学校 カンファレンス	本所1 計3名
7月4日(水)	荒尾中央保育園 カンファレンス	園5 本所1 計6名
7月6日(金)	植木小学校 ケース検討会	関係者14 本所1 計15名
7月11日(水)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校3 本所1 計4名
7月11日(水)	荒尾市役所子育て支援課カンファレンス	支援課2 本所1 計3名
7月18日(水)	南関第三小学校 ケース検討会	学校4 父母 本所1 計7名
7月25日(水)	八幡小学校 カンファレンス	担任 本所1 計2名
7月30日(月)	大野小学校 研修打ち合わせ	学校2 本所1 計3名
7月31日(火)	向陽台病院 カンファレンス	病院4 父母 本所1 計7名
8月6日(月)	大野小学校 研修 講演者として	学校15 本所1 計16名
8月7日(火)	横島小学校 ケース会議	学校3 父母 本所2 計7名
8月8日(水)	腹栄中学校 カンファレンス	学校2 本所1 計3名
8月16日(木)	睦合小学校 カンファレンス	学校2 本所1 計3名
8月16日(木)	荒尾市福祉課 訪問	福祉課3 本所1 計4名
8月27日(月)	桜山小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
8月30日(木)	植木小学校 カンファレンス	担任 本所2 計3名
9月5日(水)	平井小学校 カンファレンス	学校2 本所2 計4名
9月6日(木)	腹赤小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
9月6日(木)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校4 本所2 計6名
9月12日(水)	横島小学校 カンファレンス	園長 担当 本所1 計3名
		学校3 本所1 計4名
		学校2 本所1 計3名

9月18日(火)	平井小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
9月20日(木)	カンガルー保育園 カンファレンス	学校5 父母 本所1 計8名
9月21日(金)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校4 本所1 計5名
9月21日(金)	府本小学校 カンファレンス	福祉課1 SSW 本所2 計4名
10月1日(月)	腹栄中学校 カンファレンス	学校3 SSW 本所1 計5名
10月1日(月)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校3 SSW 母 本所1計6名
10月3日(水)	腹栄中学校 カンファレンス	学校4 本所2 計6名
10月5日(金)	荒尾市教育委員会 カンファレンス	福祉課2 SSW 母 本所1 計5名
10月5日(金)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校4 母 本所1 計6名
10月15日(月)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校2 本所2 計4名
10月17日(水)	南関第三小学校 カンファレンス	園3 本所2 計5名
10月23日(火)	荒尾市福祉課 カンファレンス	学校3 SSW 不登校アドバイザー 本所2 計7名
11月5日(月)	横島小学校 カンファレンス	学校4 母 本所2 計7名
11月20日(火)	緑ヶ丘小学校 カンファレンス	学校2 本所2 計4名
11月26日(月)	荒尾中央保育園 カンファレンス	学校2 本所1 計3名
12月4日(火)	横島小学校 カンファレンス	学校2 本所2 計4名
12月10日(月)	三加和中学校 カンファレンス	学校3 SSW 本所1 計 5名
12月11日(火)	腹栄中学校 カンファレンス	病院1 SSW 父 本所2計4名
12月11日(火)	高道小学校 カンファレンス	園長 担当 本所1 計3名
12月12日(水)	荒尾第一小学校 カンファレンス	不登校アドバイザー SSW 母 本所2 計5名
12月20日(木)	横島小学校 カンファレンス	校長 担任 本所1 計3名
12月27日(木)	向陽台病院 カンファレンス	学校2 本所1 計3名
平成26年		校長 担任 養護教諭 本所2 計5名
1月9日(水)	カンガルー保育園 カンファレンス	熊本市児相2 子ども課6 本所2 計10名
1月11日(金)	玉名教育事務所 カンファレンス	担任 本所1 計2名
1月21日(月)	緑ヶ丘小学校 カンファレンス	関係者2 本所1 計3名
1月23日(水)	中央小学校 カンファレンス	学校2 本所2 計4名
2月4日(月)	緑ヶ丘小学校 カンファレンス	学校3 本所1 計4名
2月4日(月)	北区役所保健子ども課 カンファレンス	学校3 本所1 計4名
2月5日(火)	荒尾第一小学校 カンファレンス	学校2 父母 本所2 計6名
3月22日(金)	熊本市児童相談所 ケース会議	

3月26日(火)	清里小学校 カンファレンス	
3月27日(水)	腹赤小学校 カンファレンス	
3月27日(水)	横島小学校 カンファレンス	
3月29日(金)	南関第三小学校 カンファレンス	

(注)「他機関との連携(会議等)」:他機関とのケースカンファレンス、市町村ネットワーク会議への参画、他機関との連絡会議等

(4)その他

日程	事業名、内容、等	出席者(人数)
4月27日(金)	養護協議会心理部会	計14名
5月17日(木)	実務者研修会 最終打ち合わせ	計10名
5月24日(木)	熊本県児童家庭支援センター関係機関	計14名
7月13日(金)	九州地区 児童家庭支援センター会議	計12名
7月20日(金)	児童養護施設等心理療法担当職員及び児童心理司連絡会	計12名
8月27日(月)	九州児相福祉施設職員研究大会 実行委員会	計7名
8月27日(月)	全国児童養護施設長研究協議会 実行委員会 代表者会議 養護協議会心理部会 役員会	計10名
8月29日(水)	全国児童養護施設長研究協議会 実行委員会	計7名
9月10日(月)	九州児相福祉施設職員研究大会 実行委員会	計10名
9月26日(水)	熊本県児童家庭支援センター関係機関 連絡会	計7名
10月1日(月)	九州地区 児童家庭支援センター研修会 2日目	計17名
10月11日(木)	九州児相福祉施設職員研究大会 実行委員会 熊本県養護協議会心理部会公開研修会	計14名
10月20日(土)	全国児童養護施設長研究協議会 1日目	計30名
10月21日(日)	全国児童養護施設長研究協議会 2日目	計30名
10月22日(月)	全国児童養護施設長研究協議会 3日目	計7名
11月3日(土)	養護協議会心理部会 役員会	計30名
11月5日(月)	養護協議会心理部会 研修 養護協議会心理部会 役員会	計7名
11月14日(水)	養護協議会 運営委員会	計10名
11月27日(火)		計100名
11月28日(水)		計100名
11月29日(木)		計100名
平成26年 1月22日(火)		計7名

2月22日(金)		計15名
3月7日(木)		計7名
3月7日(木)		計5名

(注)上記(1)～(3)に該当しない事業について記載すること。

## 2. 心理部門 事業報告

### (1) 目標

- クライアントの心理面の安定を図る。
- 関係機関との連携を行い、地域支援体制を作る。
- スタッフ間の連携を強化し、ケースの理解を深める。
- アセスメントの強化

### (2) 事業報告

#### 電話相談

必要最小限の情報を聞きだし、適切な助言や他機関との紹介等を行った。紹介先が限られているため、様々なクライアントに対応できるように新たな紹介先を探すことが課題である。

#### 来所相談

クライアントの家族歴、生育歴、生活歴を考慮に入れながら、心理的問題についての総合的な査定を行い、方針を立てることができた。中期～長期的目標である新しい検査用具の購入は、困難であったため、引き続き検討していくこととする。

個人心理療法は、障がいケースでのソーシャルスキルトレーニングのニーズが高く、増え続けている状況である。ある程度の能力が獲得できたところで終結としたが、保護者にスキルを伝えきれていないため、今後は保護者にもスキルを伝えていくことが課題である。

集団心理面接では、それぞれのペースで課題を乗り越え、面接場面だけでなく生活場面においても能力を生かすことができるようになってきており、効果的に支援ができたと思われる。

#### 訪問相談

来所することが困難であり、社会から孤立しつつあるクライアントに対して、スクールソーシャルワーカーと連携し、訪問面接を実施することにより、来所につなぐことができた。

#### 児童相談所、医療機関、学校等の他機関との連携

必要に応じて他機関に情報提供を行うことができた。頻度は少ないため、支援を充実させるために積極的に連携をとるように改善していきたい。

#### 受理会議・援助方針会議への参加

スタッフ間の調整が難しく、会議の開催が少なかったため、援助方針会議にかけるケースが少なかったことが課題である。ただし、朝礼などで簡易の話し合いを行うことである程度はスタッフ間での共有を図れた。

## 荒尾中央学童クラブ

項目 月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	一年生・・・学童の環境に早く慣れ、安心感を持つよう、配慮する。 二年生・・・進級したことの自覚を持つよう、努める。			夏休みの班活動を通して、縦の繋がりの強化、リーダーシップを育成する。	
行事	誕生日会 新入生お迎え 新入生歓迎観劇会 お花見昼食会	誕生日会 運動会	誕生日会	誕生日会 夏休み保育	誕生日会 お楽しみ会
保護者会	授業参観出席 児童面談			授業参観出席	
遊び	集団の遊び・・・サッカー、かくれんぼ、ケイドロ他			タグラグビー参加 プール遊び	紙飛行機大会 プール遊び
製作	写真立て	母の日プレゼント 「プリティ雨傘」	父の日プレゼント 「色鉛筆の写真立て」 七夕飾り作り	暑中見舞い制作 1年手芸	2年手芸 3年手芸 4年手芸 2年男子 ペットボトルイカダ作り
学習	宿題タイム 春休み学習タイム	宿題タイム 土曜ミニ学習会	宿題タイム 土曜ミニ学習会	宿題タイム	宿題タイム 科学実験教室参加
文化活動	読み聞かせ 観劇会「舌切り雀」	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ 4年生物教室参加	読み聞かせ 映画鑑賞 3年以上万田坑見学
生活活動	お便り配布 食育会 掃除 地域清掃 花植替え	お便り配布 食育会 掃除 地域清掃	お便り配布 食育会 掃除 地域清掃	お便り配布 食育会 班活動	お便り配布 食育会 班活動

項目 月	9月	10月	11月	12月
目標	夏休みの疲労を取り、落ち着いた生活を送るよう、心がける。			
行事	誕生日会	誕生日会 秋休み保育	誕生日会 感謝祭参加 中央小連絡会	誕生日会 冬休み保育 中央小連絡会
保護者会			授業参観出席	授業参観出席
遊び	集団遊び・・・サッカー、かくれんぼ他			タグラグビー参加
製作		どんぐりコマ作り  ハロウィンオーナメント作り		クリスマスオーナメント 作り
学習	宿題タイム	宿題タイム 土曜ミニ学習会	宿題タイム 土曜ミニ学習会	宿題タイム 土曜ミニ学習会
文化活動	読み聞かせ 種子島ロケット発 射  視察会出席	読み聞かせ  ペットボトルを使った  ピザ作り	読み聞かせ	読み聞かせ 郷土料理教室参加  餅つき会
生活活動	お便り配布 食育会	お便り配布 食育会	お便り配布 食育会	お便り配布 食育会

項目 月	1月	2月	3月
目標	次年度の進級を意識させ、新入生の受け入れ態勢を整える。		
行事	誕生日会 新規加入者募集 中央小連絡会	誕生日会 中央フェスティバル見学	誕生日会 春休み保育 防火訓練 お別れ会
保護者会		新規加入者個人面談	
遊び	集団遊び・・・サッカー、かくれんぼ、お店屋さんごっこ他		
製作	冬の紙工作会	ひな人形作り	
学習	宿題タイム 土曜ミニ学習会	宿題タイム 土曜ミニ学習会	宿題タイム 土曜ミニ学習会
文化活動	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ お花見会
生活活動	お便り配布 食育会 花植替え	お便り配布 食育会 地域清掃	お便り配布 食育会 班活動 教室飾り付け